

2020年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月7日

上場会社名 シリコンスタジオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3907 URL <https://www.siliconstudio.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶谷 眞一郎
 問合せ先責任者(役職名) コーポレートサービス本部長 (氏名) 高野 賢一 (TEL) 03(5488)7070
 四半期報告書提出予定日 2020年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第1四半期の連結業績(2019年12月1日～2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第1四半期	1,054	△8.8	3	—	7	23.8	△8	—
2019年11月期第1四半期	1,156	5.2	△5	—	6	—	10	—

(注) 包括利益 2020年11月期第1四半期 △8百万円(—%) 2019年11月期第1四半期 10百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第1四半期	△2.87	—
2019年11月期第1四半期	3.78	3.73

(注) 2020年11月期第1四半期においては、1株当たり四半期純損失金額であるため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第1四半期	2,402	1,509	62.4
2019年11月期	2,402	1,514	62.6

(参考) 自己資本 2020年11月期第1四半期 1,499百万円 2019年11月期 1,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年11月期	—	—	—	—	—
2020年11月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,574	△0.4	160	252.5	160	165.1	160	1.2
								55.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期 1 Q	2,951,700株	2019年11月期	2,948,200株
② 期末自己株式数	2020年11月期 1 Q	30,040株	2019年11月期	30,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年11月期 1 Q	2,894,517株	2019年11月期 1 Q	2,850,267株

(注) 株式給付信託（J-ESOP）の信託財産として資産管理サービス信託銀行株式会社が保有する当社株式25,000株は、上記自己株式に含めておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな景気回復基調が続いているものの、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社が強みを持つコンピュータグラフィックス関連ビジネスに多角的に取り組むと同時に、収益性の改善に努めてまいりました。

開発推進・支援事業においては、エンターテインメント（娯楽）業界向け案件の着実な獲得、および成長余地が大きい自動車業界や不動産業界など非エンターテインメント領域における積極的な営業展開を進めてまいりました。

人材事業においては、エンターテインメント業界におけるクリエイティブ人材の獲得ニーズが引き続き旺盛であることから、有料職業紹介サービスの成約件数が堅調に推移しております。

また、前年度より継続中の他社と協業しているコンテンツタイトルにつきまして若干の利益が発生しており、「その他」のセグメントに計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は1,054百万円（前年同期比8.8%減）、営業利益は3百万円（同8百万円増）、経常利益は7百万円（同23.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8百万円（同19百万円減）となりました。

報告セグメントの状況は、以下のとおりであります。

① 開発推進・支援事業

当第1四半期連結累計期間においては、ミドルウェアライセンス販売の売上高については、今冬以降に家庭用ゲーム機の新型機が各社から発売を控えており、家庭用ゲーム市場が端境期を迎えている影響等により減収となりました。

受託開発の売上高は、前年同期において大型案件の検収があったことの反動等により減収となりました。

ネットワーク構築・運用等のサービスを提供するソリューション売上については、運用タイトル数の減少等により減収となりました。

以上の結果、売上高は574百万円（前年同期比14.1%減）、セグメント利益は27百万円（同24.9%減）となりました。

② 人材事業

当第1四半期連結累計期間における派遣先企業で稼働した一般派遣労働者数は延べ746名、有料職業紹介の成約実績数は82名となりました。

以上の結果、売上高は455百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は96百万円（同7.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて0百万円増加（前連結会計年度末比0.0%増）し、2,402百万円となりました。

これは主に、売掛金の減少128百万円、ソフトウェア仮勘定の減少31百万円等があったものの、現金及び預金の増加99百万円、仕掛品の増加67百万円等があったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて5百万円増加（同0.6%増）し、893百万円となりました。

これは主に、未払費用の減少104百万円、未払消費税等の減少38百万円等があったものの、短期借入金の増加94百万円、賞与引当金の増加62百万円等があったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて5百万円減少（同0.4%減）し、1,509百万円となりました。

これは主に利益剰余金の減少8百万円等があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.2ポイント減少し、62.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月期の連結業績予想につきましては、2020年1月15日に公表いたしました「2019年11月期決算短信」の内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	903	1,003
売掛金	670	541
仕掛品	111	179
前払費用	89	84
その他	19	15
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	1,793	1,823
固定資産		
有形固定資産	148	149
無形固定資産		
ソフトウェア	57	68
ソフトウェア仮勘定	47	16
その他	12	12
無形固定資産合計	117	96
投資その他の資産	342	332
固定資産合計	608	579
資産合計	2,402	2,402

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	64	65
短期借入金	107	202
1年内返済予定の長期借入金	110	77
未払金	127	114
未払費用	158	54
前受金	44	80
預り金	50	68
未払法人税等	16	7
未払消費税等	99	61
賞与引当金	—	62
受注損失引当金	30	30
その他	0	0
流動負債合計	811	824
固定負債		
長期借入金	44	36
資産除去債務	32	32
固定負債合計	76	68
負債合計	887	893
純資産の部		
株主資本		
資本金	453	455
資本剰余金	2,201	2,203
利益剰余金	△910	△919
自己株式	△236	△236
株主資本合計	1,507	1,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△2
その他の包括利益累計額合計	△2	△2
新株予約権	9	9
純資産合計	1,514	1,509
負債純資産合計	2,402	2,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年2月29日)
売上高	1,156	1,054
売上原価	795	679
売上総利益	360	375
販売費及び一般管理費	366	372
営業利益又は営業損失(△)	△5	3
営業外収益		
受取利息	0	0
持分法による投資利益	14	5
その他	0	0
営業外収益合計	15	5
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	2	0
その他	0	0
営業外費用合計	4	1
経常利益	6	7
特別利益		
関係会社株式売却益	6	—
特別利益合計	6	—
税金等調整前四半期純利益	12	7
法人税、住民税及び事業税	1	0
法人税等調整額	△0	14
法人税等合計	1	15
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	10	△8

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10	△8
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	10	△8
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10	△8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	開発推進・支援	人材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	668	448	1,116	39	1,156
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3	3	—	3
計	668	452	1,120	39	1,159
セグメント利益	36	89	125	2	127

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	125
全社費用(注)	△132
「その他」の区分の利益	2
棚卸資産の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△5

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	開発推進・支援	人材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	574	455	1,029	24	1,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	1	—	1
計	574	457	1,031	24	1,056
セグメント利益	27	96	123	1	125

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	123
全社費用(注)	△121
「その他」の区分の利益	1
棚卸資産の調整額等	0
四半期連結損益計算書の営業利益	3

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。